

イントロダクション

大学生の皆さん、楽しい学生生活を過ごしておられることと思います。大学生となると、高校生とは違い、何ごとにも自分の判断で物事を決めていく場面が多くなります。授業の選択もそうですし、サークル、部活、アルバイトにおいても自分の意思で自由にできます。自分で働いて得たお金も、どう使うかは自分で決めなくてはなりません。生活費や学費をそこから捻出したり、それ以外の趣味や自己発展に使ったりと、使い道も人それぞれです。

このように自由に選択し、決定できる反面、そこには色々な「落とし穴」が潜んでいることに注意しなければいけません。いったいどんな「落とし穴」が潜んでいるのでしょうか。

大学生になってからアルバイトを始める方も多いかと思います。働いてお金を稼ぐことは尊いことですが、ともすれば、若くて未経験な大学生に、無理難題を強いる、働きに見合った賃金を出さない、勤務時間の他に、給料の出ない拘束時間がある、といった問題が起こり得ます。そうした問題に直面した時、皆さんはどう立ち向かったら良いのでしょうか。

また、アルバイト感覚で儲け話に乗ってしまうと、思わぬ被害にあうことがあります。例えば、バイトに必要ということでパソコン一式を買わされたが、結局は必要のない購入だったり、マルチまがいの商法やネズミ講で、友達を巻き込んでしまったり、そのバイトが実は振り込め詐欺で、お金を被害者から受け取る役をさせられたりと、危ない例を挙げればたくさんあります。こんなバイトでは、お金を儲けるどころか、逆に失ったり、最悪、警察に捕まって犯罪者になってしまいます。そういった危険なバイトの話が、大学の先輩などから来ると、断りにくいということもあるかもしれません。しかし、ネズミ講や、詐欺のお先棒を担ぐような誘いは、どんなに断りにくくても、ノーと答えないと、自分の人生が壊れてしまいます。

雑誌のモデルやタレントになりませんかといったスカウトにも危険性があります。例えば、タレントになるためと称して、必要以上の高額なレッスン料を取られたり、あるいは撮影があるからといって、誘われて行ってみると、アダルトビデオの撮影が待っていた、ということもあります。危ないと感じたら、引き返す勇気と、そのために助けを求められる人が必要です。

クレジットカードは持っているでしょうか。クレジットカードを利用すれば、現金を持ち歩く必要がなく、生活が便利になりますが、それは、後で支払わなければならない借金をして

いるということを忘れがちです。さらにリボ払いだと、月々の支払いが抑えられるといっても、総額の支払いは逆に増えてしまいます。クレジットカードの仕組みを正しく理解しないと、いつの間にか支払額が高額になってしまう恐れがあるのです。

親元を離れてアパートに一人暮らしという大学生の方も多いでしょう。アパートの賃貸契約では、例えば、何日か旅行に行って、帰ってきたら、鍵が取り替えられてしまっていて、部屋に入れなくてとか、家賃を数日滞納してしまったため、部屋を追い出されそうになったりですとか、アパートから引っ越すとき、部屋を全く汚したり壊したりしていないのに、リフォームされて、敷金を返してくれないといったようなトラブルが起こり得ます。

社会においてスマートフォンやインターネットは欠かすことができないツールとなっており、大学生の皆さんも、ゲームやSNSを利用している方は多いのではないのでしょうか。しかし、ネット依存症になってしまう恐れや、ゲーム内のアイテムを購入しすぎて、高額な課金になっていることに気がつかなかったり、SNSを利用しているうちに知り合いと揉め事が発生したり、匿名で書いていたつもりが、実は個人情報が流出していたりと、様々なトラブルに陥る要因にもなります。特に、ちょっと羽目をはずした投稿をしてしまったことで、いわゆる「炎上」してしまい、身元が判明してしまうなど、かなり危険なことにも繋がりがねません。

大学の授業だけでなく、資格の取得や自分の趣味のため、英会話スクールや就活セミナーなどに通うこともあるでしょう。しかし、そのスクールやセミナーの内容が、自分の想像と違っていたり、事情が変わって通えなくなることもあります。そういう時に、高額な前払いをしていたら、途中で辞めたいと伝えて、果たしてお金は返してくれるのでしょうか。

インターネット上には様々な商品が売られていて、いかにも役に立ちそうな表示をしているものもあります。しかし、本当に役に立つのか、そして本当に必要なのか、額が大きくなればなるほど、慎重に見極めなければなりません。中には、豊胸効果がある健康食品という触れ込みの製品によって、健康被害が頻発しているというひどい例もあります。

大学生になると、自分で物事を決める場面が多くなることに伴い、上記のようなトラブルにあってしまう確率が、必然的に高くなります。これは、環境の変化などによって、皆さんの消費者としての権利と責任が大きく変化したことも要因の1つです。

この教材は、いつそんな「落とし穴」に陥ってしまってもおかしくない大学生の皆さんが、

自立した消費者であることを認識し、被害にあうことなく、豊かな学生生活を送れることを目的に作成しました。

教材の作成にあたっては、大学教授、弁護士、司法書士、消費生活相談員といった消費者問題の専門家の方々にご協力いただいた他、皆さんと同じ大学の学生の意見も参考にして、様々な工夫を凝らしています。例えば、各学年ごとに学ぶべき消費者被害のモデルケースを、4コマ漫画で紹介していたり、類似例やワークシート等によって、自身がそうなった場合にどうすればよいのか、それを考えさせるような作りになっています。これらのツールを活用することによって、大学生の皆さんが、多角的な視点で消費者としての意識を高めることができます。

ぜひ、この教材を使う一人ひとりが、正しい知識と健全な良識を身につけて、安心して充実した学生生活を送っていただき、さらには周りの人、ひいては社会のためにも、問題があれば問題だと声を上げられるようになっていただければ幸いです。

執筆者代表 町村 泰貴